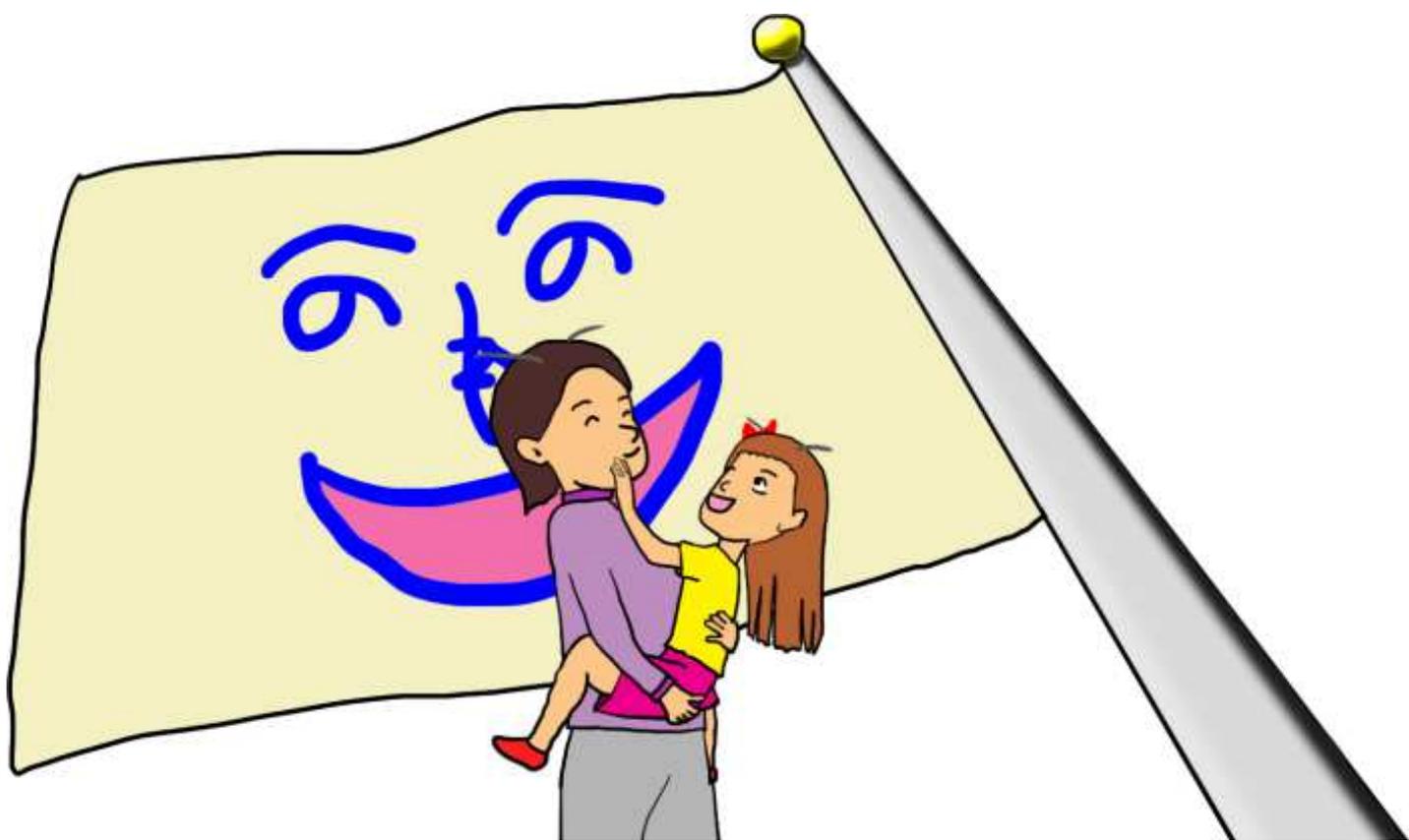
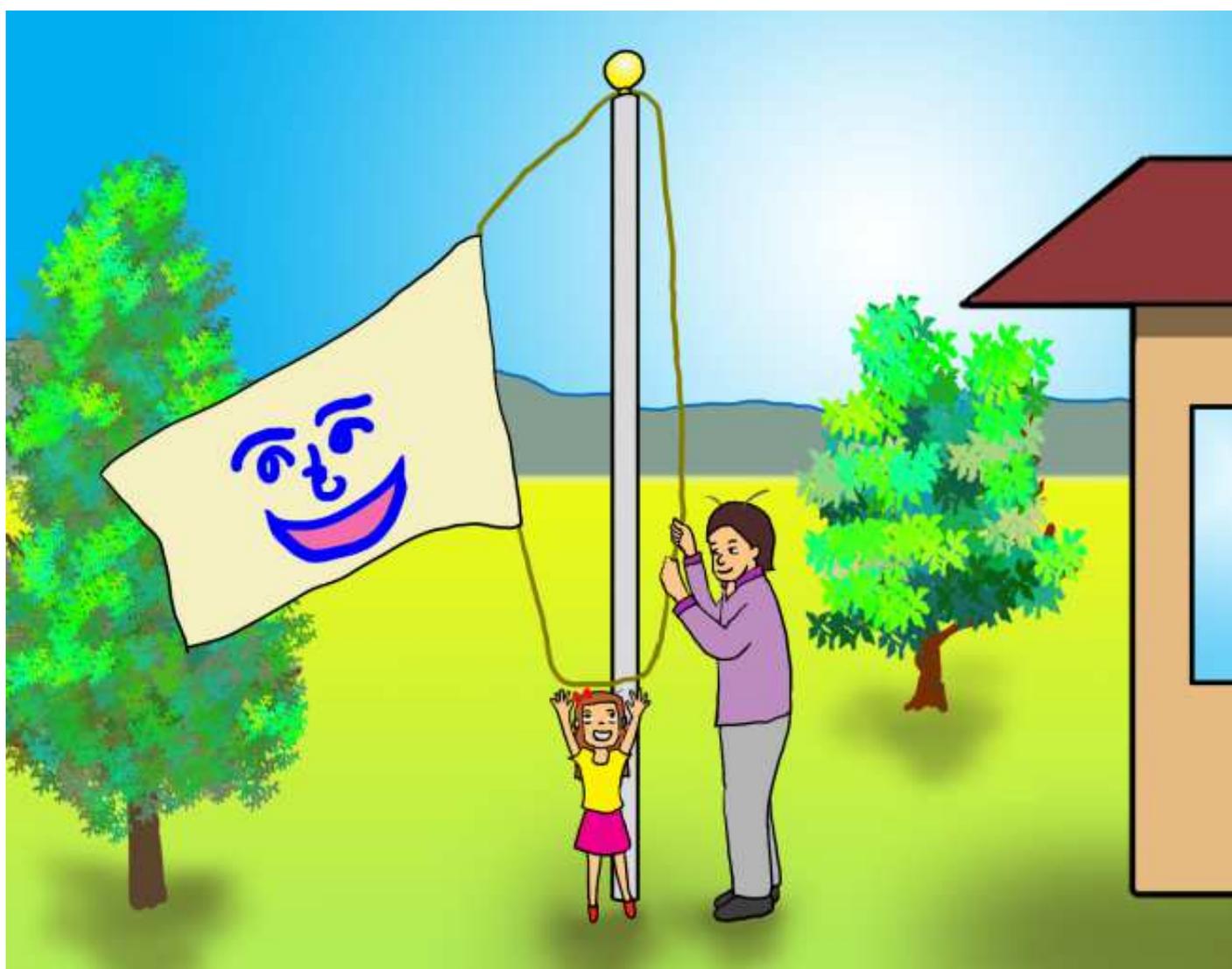


恐怖は愛 を消す

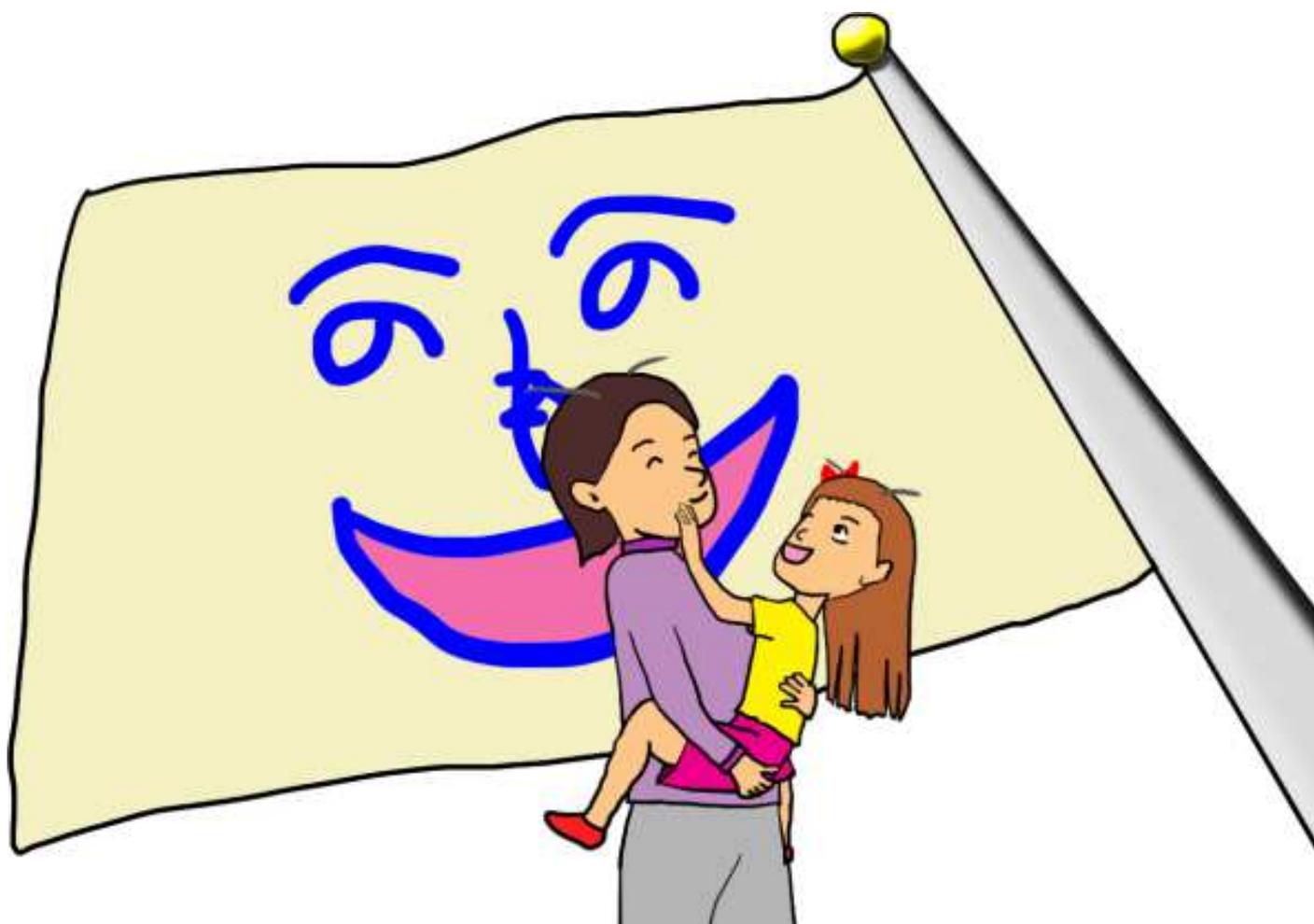


東郷 潤

遠い宇宙のある星に、祝祭日には必ず
国旗を掲揚する男性がいました。



国旗を掲揚するのは、彼が自分の国を
愛し、その国旗も大好きだったからで
す。他に理由はありません。



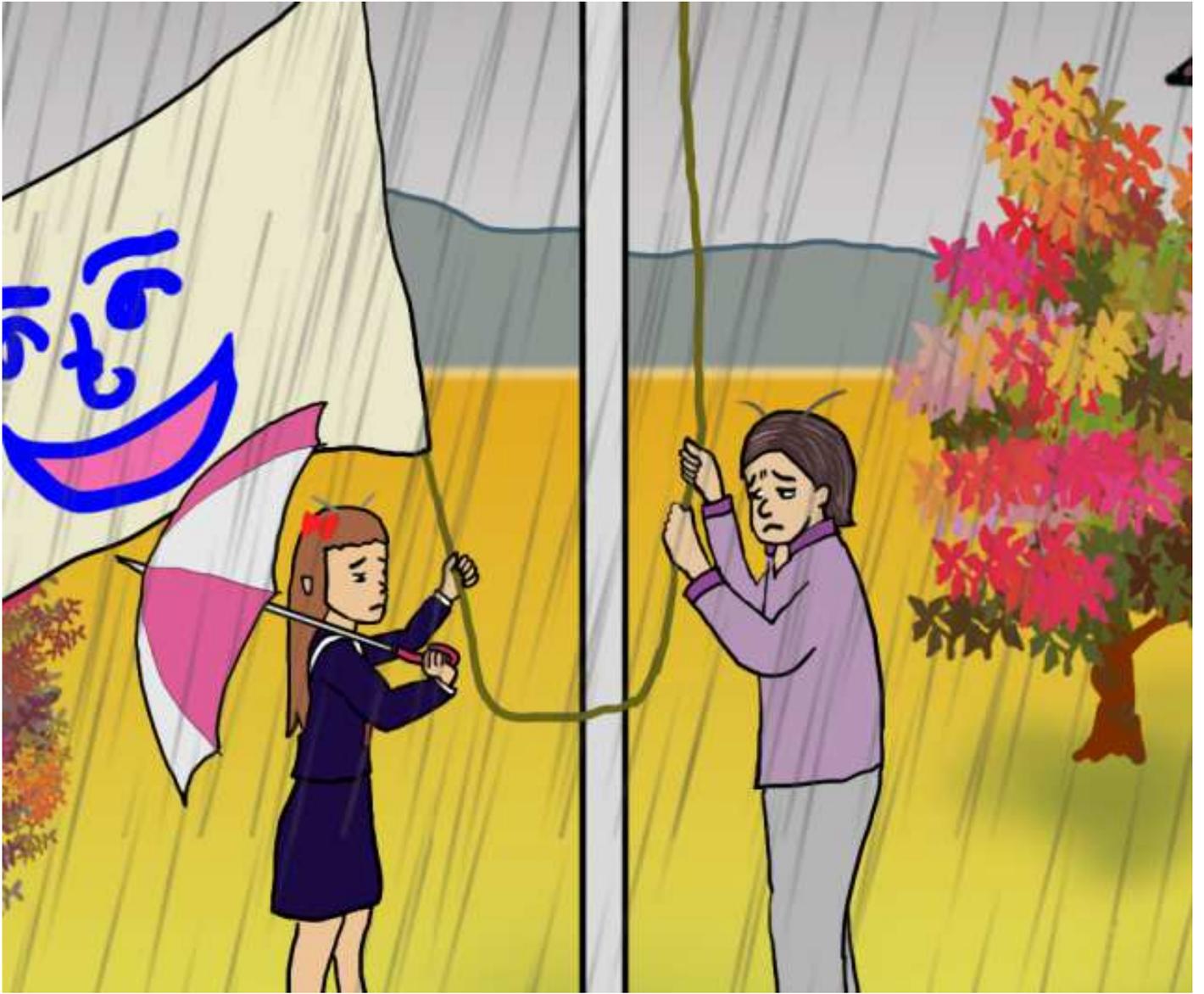
ある日、「愛国者党」が政権を取りました。



そして「すべての国民は祝祭日に国旗掲揚をすること。違反者は逮捕する」という法律を作りました。

この法律が施行された後も、男性は今までと同様に国旗を掲揚し続けました。







ねえ、お父さん
国旗を掲揚するのは、
この国を愛しているから？
それとも逮捕
されたくないから？



**恐怖は、愛を
消します。**

あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2017